



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

地域活性化に向けたマーケティング手法とICTの利活用

森本 登志男 (もりもと としお)

佐賀県庁 最高情報統括監(CIO)



○ 登録者情報

所在地

佐賀県佐賀市

略歴

マイクロソフト株式会社に在籍中、新規事業開拓と社会貢献の担当として、2003年からICTを活用し、マーケティング手法を取り入れた地域の活性化を支援してきました。

2004年からは、徳島県上勝町のブロードバンド敷設に伴い、彩事業に続くICT利活用による産業振興、および町民全体のICT利活用促進と後継者の確保に取り組みました。成果として、それまでパソコンを使って大きな成果を上げてきた彩事業以外の町民や企業・団体のICT利用が促進され、町外へ向けての情報発信が進み、若者層を中心とした交流人口の増大に貢献しました。約5年にわたるこの取組みを評価いただき2010年に上勝町から感謝状をいただきました。

2008年には、総務省から地域情報化アドバイザーの委嘱を受け、3年間で15回の派遣依頼を受け、それぞれの地域にて講演や委員会のアドバイザーを担当しました。

2011年4月からは、マイクロソフトを退社し、佐賀県の最高情報統括監として、佐賀県の情報政策を統括しています。本務以外にも、休日や業務終了後に佐賀県内各地の団体と特産品の開発や観光ブランディング、NPO活動の自立支援、地域と若者の交流促進など、広く地域活性化の活動を行い、目に見える成果も出始めています。

「総務省高齢者・障害者のICT利活用の評価及び普及に関する検討会」委員、「上勝町ICT戦略検討委員会」アドバイザー、「秋田県知事委嘱秋田県産業サポータークラブ」委員など、自治体などから各種委員やアドバイザーの委嘱を受けました。

○ 地域活性化に向けたマーケティング手法とICTの利活用

取組の内容

- ・2003年に秋田県青年会議所のブロック大会にパネラーとして参加、同大会での提案事項から、秋田活性化株式会社の起業に関わりました
- ・2004～09年に徳島県上勝町のICT戦略の立案実行に携わり、新たな産業振興と人口流入に貢献しました(上勝町から感謝状の授与)
- ・2008～10年に総務省から地域情報化アドバイザーの委嘱による15回の派遣依頼を受けました。
- ・2011年からは、佐賀県内各地の団体と、特産品の開発や観光ブランディング、NPO活動の自立支援、地域と若者の交流促進など、広く地域活性化の活動を行っています。

実績

- ・徳島県上勝町において、ICT戦略実施の2008～09年における社会的人口増21人(年平均 10.5人)(直前10年間の年平均が、-12.4人)

工夫した点や苦労した点

地方の特色として、外部から来た人間を受け入れたがらない傾向があり、従来から続いてきた手法を変えることに対する抵抗感は強いものがあります。

まず、地元の方々の警戒感を解き、その地域が抱えている課題とその原因をさぐり、次の発展のもととなる地域資源の発掘につなげる必要があります。地域の方に、なぜその地域に入ってきていて、何をしようとしているかを理解いただくために、懐に飛び込んで本音を聞き出せる関係を築くことに重点を置いています。

ひとことPR

警戒感を解いてその地域の人々の輪に入るために、現場の状況をじっくりと見て歩き、町の方と交流することから入ります。

その地域にも可能性があり、似た状況で成功した地域の事例をご紹介して、まずは明るい期待を持ってワクワクする雰囲気を作ることから、具体的な動きにつなげていきます。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化	○	8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進		11	その他()
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

佐賀県庁	http://www.pref.saga.lg.jp/web/
------	---

戻る